

広報 なかとんべつ

4 No.641
2013

北緯45度癒しの里
中頓別町



大自然を満喫！

教育委員会主催の歩くスキー遠足が3月31日、18名が参加し開催されました。なかとんべつの雄大な自然を体を感じ、松音知から敏音知までの約5kmを走破しました。

Contents・目次

町政執行方針	2～6
教育行政執行方針	7～9
まちの話題	10.11
information ～お知らせ～	12～14
図書室だより	15
あとがき	16

ロマン息づく大自然の町ー中頓別



住んでよかった町づくりをめざして



第1回定例会（3月10日）で4期目折返しの町政執行方針を表明する野呂町長

本年度の町政執行への本格的な考え方や重点的な施策を申し述べ、町民の皆様にご理解とご協力を賜りたいと存じます。

本年度は、私が町民の皆様の信託を受け4期目の町政を担当させていただいてから、早いもので折り返しの年となりました。

私はこれまで一貫して「町民参加の町政」や「行財政改革」を基本政策の柱に据えて町政を担ってまいりました。

しかし、本町を取り巻く環境は、過疎化によって人口も2千人をきり、少子高齢化の進展により、高齢化

率も36%を超えました。

このような大変厳しい環境下にあっても、中頓別町を愛し頑張っている多くの町民のために、安心して喜んで住んでもらえる町をめざして、町民参加で策定をいただいた「第7期総合計画」の確実な実施を町民の皆様や議会のご協力をいただきながら取り進めます。

また、「早期健全化団体」から脱却し4年目を迎える本年度も財政の健全化に主眼を置き、未来に向けて町民の皆様が財政の心配をすることがないような道筋の一端に寄与するため、全力で取り組みを進めます。行財政改革や経費の効率

化に徹する一方で、限られた財源の重点的かつ効率的な配分に努め、地域経済の活性化、少子・高齢化社会

〈環境にやさしいくらしづくり〉

わが町の自然環境は、町民が誇りに思う大切な宝物であり、その保全はとても重要な政策です。

第7期総合計画の実施計画においても多くの重点課題が示されており、本年度は、河川環境の実態を知るため河川水質調査を実施し、河川環境の改善に向け河川のクリーン作戦などの取り組みを進めます。

また、近年、地球温暖化防止対策、省エネ対策や新エネルギー対策等が国を挙げて取り組まれていることから、本年度より街灯の「LED化」を計画的に進めていくと共に、新エネルギーに関する調査に取り組みます。私たちが手に入れた便利で快適な暮らしは、一方で

〈農林業を基本に据えた活力ある産業の創造〉

本町の基幹産業である酪農業は、経営者の高齢化や後継者・配偶者・労働力不

への対応、自主的・主体的な地域づくり等の政策課題に積極的に取り組みます。

地球や地域の環境に大きな負荷を与えています。地球と地域にやさしいライフスタイルづくりに取り組みでいかなければなりません。

このようなことから、ごみの減量化とリサイクル推進に取り組みでまいります。近年、エゾシカの急増による交通事故や農林業被害の拡大、アライグマなどの外来生物による環境への影響が危惧されています。有害鳥獣駆除体制の確立を図るため、昨年度に引き続き銃器免許取得希望者に対する支援を実施します。

また、有害鳥獣の捕獲後の処分方法として、早急に残滓処分施設の整備に向けた検討を進めています。

足などによる離農が進むと共に、燃料や飼料等の生産資材の高騰やTPP交渉参



地上デジタル放送の難視 解消します

加問題などにより、前途は極めて厳しい状況にあります。

このような情勢の中、良質粗飼料の生産やコスト低減、経営体質の合理化等を図るため、コントラクター・TMRセンター・堆肥センター等の共同利用の組織化が図られ、また、専任ヘルパーの増員による酪農ヘルパー制度の拡充も進んでいます。

育成牛の飼養管理に対する労働力の軽減などを目的に運営を行っている町営牧場については、造成後十数年が経過し草地の老朽化が進んでいることから、本年度より計画的な草地更新を進め、受精牧場としての役割を高めめます。

また、耕作放棄地の発生防止と集落の多面的機能の確保を図るため、中山間地域等直接支払制度交付金事業を継続し、農地の有効利用や土地基盤に立脚した農業経営を推進します。

酪農家を1戸でも減らさないため、今後も第三者継承の推進と、後継者、担い手の育成・確保に向けた取り組みについて、農業関係機関との連携を図り推進します。

本町の森林は、来るべき国産材時代に備え、活力ある林業を実現するため大切に育成されてきました。しかしながら、輸入材の増大や経営コストの増嵩、景気の低迷が続くなど、採算性が低下し森林所有者の経営意欲の減退を招いて、間伐や枝打ちなど適正な保育作業が進まない状況にあります。また、森林は環境保全や水資源のかん養など多面的な機能を有しており、国土を守るためにも計画的な整備が必要であります。

商工業の振興では、町内における商工業者は、人口減少による消費の低迷、後継者問題や公共事業の減少など、大きな課題を抱える中で経営改善などに努力されており、引き続き中小企業振興資金融資事業を行うと共に、指導的立場にある町商工会への運営費補助や公共事業等による町内需要の喚起に努めます。

観光の振興では、観光客の入込み状況が減少傾向にある中、中頓別鍾乳洞、ピネシリ温泉、山村交流施設やそうや自然学校事業と連携して滞在型・体験型観光をめざし取り組みます。

〈快適に暮らすことができる生活環境の整備〉

地域情報化社会の中で、本町は情報過疎地といわれており、大量の情報がより早くやり取りできる「光通信」を望む声が強くなり、本年度、市街地における光通信環境整備を関係機関に強く働きかけ、その実現に努めます。また、地上デジタル放送の難視聴地区への対策も急務であり、本年度は、「中頓別・旭台・上駒地区」の難視聴解消を図ります。

町民が安心して快適に暮らすことができる生活環境をつくるため、本年度も町道の整備をはじめ、老朽化した町営住宅などの解体、水道本管の一部改修や持ち家の建設に対する助成制度も継続します。

また、橋梁の安全性の向上と長寿命化のため、橋梁の長寿命化計画を策定すると共に、老朽化した町営住宅の改善や建替えなどによる居住環境の向上のため、町営住宅の長寿命化計画を策定します。

町内に民間アパート等の賃貸住宅はなく、町営住宅は古い住宅が多く老朽化が進んできていることから、



民間アパート建設と 廃屋解体に助成します

民間活力による賃貸住宅の建設を後押しする必要があると見られます。現代のライフスタイルに対応した良質な民間賃貸住宅の供給と町民の定住促進を図るために、民間賃貸住宅の建設に対する助成制度を創設します。

平成13年度から5年間、廃屋の解体撤去に対する助成を行ってきましたが、今でも町内には、景観を阻害し、周辺に危険を及ぼすおそれのある建築物が多く存在していることから、景観や住環境の向上、町民の安

〈誰もが健康で安心して暮らすことができる保健・医療・福祉の充実〉

本町では、高齢化率が36%となり一段と少子高齢化が進み、一人暮らしや高齢者だけの世帯も増え、健康面や介護のほか、除雪や買い物など、地域で生活していくためのさまざまな困難を抱えるようになっていきます。そうした中であつても多くの町民がいつまでもこの町で住み続けたいと願いながら暮らしており、その思いに応えていくため、地域医療の確保や在宅福祉の充実など、一人ひとりのニーズにきめ細かく対応していくことが大きな課題となつていきます。

高齢者福祉では、後期高齢者に対する医療費への見舞金をはじめ、福祉ハイヤー、病院患者送迎、給食サービス、除雪サービス、温泉入浴助成、各種検診やインフルエンザ等各種予防接種への助成など、町独自で取り組む給付やサービス事業を継続すると共に、老人福祉計画・介護保険事業計画に基づく施策の推進と充実を図りながら、課題となつていく訪問看護サービスの実現についても検討します。

機関との協議を進めます。

障がい者福祉では、障がい者が自立して地域生活を送るための環境づくりと支援が課題となつていきます。

このため、障がい者自立支援協議会を設立し、施策を総合的に推進していく体制を構築すると共に、地域生活支援事業における相談支援の強化など、障がい福祉計画に基づく施策の充実を図ります。

保健予防では、生活習慣病の増加、運動機能の維持などの健康課題が増えてきています。また、これまで

も保健師らの訪問機会を増やすことが強く求められるなど、介護予防を含め保健師や栄養士の活動のあり方も課題となつていました。

本年度は、糖尿病を中心にした生活習慣病の予防や健康寿命の延伸、特定健康

高齢者や障がい者をはじめ、すべての地域住民が安心して快適に暮らしていけるよう、保健、医療、福祉、介護各分野が連携し施策の充実を努めると共に、地域の支え合いや見守り活動のしくみづくり、権利擁護活動

介護保険事業では、地域包括支援センターの機能を強化し、予防に重点を置いた訪問活動を通して対人支援の充実を図ります。

また、老朽化した特別養護老人ホームの改修事業に向け、南宗谷福祉会や関係



歯科診療所バリアフリーに！

子どもの医療費助成 高校生まで拡大します

診査の受診率の向上、保健指導、栄養指導の充実を図ります。
各種がん検診でも、早期発見、早期治療に取り組めるよう、個別勧奨に努め、受診率の向上を図ります。

予防接種では、子宮頸がん、インフルエンザ菌b型（ヒブ）、小児用肺炎球菌が新たに定期の予防接種となる見込みで、これらを加えた定期予防接種のほか、インフルエンザ、肺炎球菌など感染症対策のための予防接種に継続して取り組みます。

病院は、町民の皆様がこの地域で安心して住み続けるための必要最低限の施設であり、医師不足や地域偏在が深刻な状況が続いていますが、病院存続のために医師の確保に向けて最大限の努力をします。

町立歯科診療所については、バリアフリー化が課題となっており、改修に向けた設計を行ってきました。
新年度は、この設計に基づき、玄関までの段差の解消と多目的トイレの設置など、施設の増改修事業を実施

施します。
また、平成24年度で診療所業務の委託契約が満了することから、新たな委託契約を結んで歯科診療所の運営を継続します。

〈安全な町民生活を支える体制、対策の確立〉

町民の生活安全対策は、地域生活安全協会や子ども安全パトロール隊など町民の方々が主体となる取り組みが定着してきており、交通安全運動啓発や防犯活動などに関係機関の協力を得ながら取り組みます。

とくに、5月3日の交通事故死ゼロ3,500日の達成に向け、全町挙げて交通事故による死者を出さない運動に取り組みます。

前段でも申し上げたとおり、本町では、高齢者世帯、独居老人世帯などの災害時要援護者とされる世帯が年々増加していることから、火災や焼死事故防止対策として、年間を通じ防火査察を積極的に実施します。

昨今の救急活動においても、町民の食生活や生活習慣の変化に伴い心疾患、脳疾患などの疾病が多くなり、救急隊員の専門的な知識と

技術が求められていることから、昨年度に引き続き、救急救命士の薬剤投与資格者を養成し、救急救命体制の確立を推進します。

さらに、近年の複雑多様化する火災、交通事故、労働災害など、多岐にわたる災害に対応するために、老朽化した水槽付消防ポンプ自動車（天龍）を有効な消防・救助活動の機能を併せ持った車両へ更新します。

防災や災害対策は、行政のみで成し得るものではなく、「自分たちの町は自分たちの手で守る」を合言葉に、自助・共助・公助による連携が基本と考え、防災訓練の実施と共に、各家庭や自治会などで防災、減災意識を高めてもらうよう啓発に努めます。

〈健やかでこころ豊かな子どもを育てる環境づくり〉

社会の枠組みや価値観が大きく変動している時代にあって、本町の子どもたちが充実した人生を送るためには、その基盤となる知識や能力、社会性などを身につけることが必要です。

次代を担う子どもたちは地域の宝です。子どもたちが、夢と希望にあふれこ



小頓別に集落支援員を配置

戸籍の電算化 宗谷3町で実現します

る豊かにたくましく生きていく力を育むため、新たに子ども・子育て会議を設置します。

また、子ども医療費の助成対象を原則高校在学中まで引き上げ、医療費無料化事業の拡充を図ります。

〈生きがいとまちづくりを支える社会教育の推進〉

町民一人ひとりが、健康で生き生きとした暮らしを創造していくためには、自らの意思と選択によって、あらゆる成長過程でスポーツや学習の機会にふれる必要性が高まっています。

このようなことから、体力の向上や健康増進につながるスポーツ教室や大会を実施するほか、各種スポーツ団体の活動を支援すると共に、心豊かな地域社会をめざした芸術文化活動や生涯学習の推進などで教育委員会と連携を図ります。

〈情報の共有化と町民参加によるまちづくりの推進〉

少子高齢化による人口の減少傾向は顕著で、その影響はあらゆるところに波及しています。とくに、小頓別地域では、地域住民の減少と高齢化の進行により自治会活動にも大きな影響が出てきていることから、本

年度、集落活性化事業として同地域に集落支援員を配置し、自治会活動の活性化

〈創造的な自治体改革の推進〉

自治体財政の健全度を表す財政健全化判断基準の一つである実質公債費比率（3カ年平均）は、平成23年度決算において、昨年度の21・7％から18・7％まで引き下げることができました。

平成23年度単年度では16・8％となり、平成24年度決算で15％台（3カ年平均）達成が視野に入っておりましたが、政権が変わり、実質公債費比率の変動に大きな影響を及ぼす地方（普通）交付税の先行きが樂觀を許さない状況下では、過度な公共投資は慎まなければなりません。

地方分権改革の進展に伴い、行政の決定権の多くが国や道から市町村に移管され、自治の責任分野が拡大しつつあります。第7期総合計画に登載された多様な施策を着実に実行していくため、限られた財源と職員のパワーが最大限生かされる効率的な行財政システムづくりが急務であり、職員一人ひとりの資質向上と能力開発に向けた全庁的な取り組みが求められています。

や高齢者の見守り活動などに取り組みます。

ます。

戸籍は、日本国民の出生から死亡までの身分関係を記録した重要な公簿ですが、東日本大震災では、庁舎で保管していた戸籍の正本が津波で流され、再製に苦しむ自治体が発生しました。

こうした状況を防ぐため、法務省は、全国の自治体の戸籍副本データを一元管理する戸籍副本データ管理システムの導入を平成25年9月稼働予定で進めています。

本町も戸籍事務の電算化を進め、法務省とネットワーク化することで戸籍消失の危険性を回避すると共に、窓口事務のスピードアップと住民サービスの向上を図ります。

なお、戸籍事務の電算化は、行財政改革の一環として、単独運用に比べ、導入経費と維持管理費の軽減を図れる共同運用方式（浜頓別町・豊富町・中頓別町）によって平成26年度中の稼働をめざし取り組みます。

以上、平成25年度の基本的、重点的な施政方針を申し上げます。

こころ豊かな子育て環境づくり 生きがい支える社会教育の推進を



第1回定例会（3月10日）で教育行政執行方針を表明する米屋教育長

中頓別町教育委員会の所管行政に関わる主要な方針について申しあげます。

今日、グローバル化の進展や少子化の進行、社会活力の低下、地域コミュニティの弱体化など社会構造の変化と変動する経済情勢の中で、教育においては、いじめ・体罰の問題や学力・体力低

下の問題が大きくクローズアップされるなど様々な課題を抱えながら新たな転機を迎えようとしています。

今までの常識や慣行だけでは対応が難しい課題も多く、常にアンテナを高く張り社会や地域の動向、要求などを敏感に把握しなければなりません。

中頓別町教育委員会とし

ては、「第7期中頓別町総合計画」を基本として、関係機関・団体などと連携しながら自然豊かな地域の素材や人材を生かし、家庭・学校・地域がそれぞれの持つ役割と機能が十分に発揮できる教育活動を大切にし、「健やかでこころ豊かな子どもを育てる環境づくり」と「生きがいとまちづくりを支える社会教育の推進」を柱にした教育の推進に努めます。

また、昨年、中頓別町教育基本方針（めざす姿）検討委員会から教育関連施設などの現状と課題・問題点について貴重な提言をいただきました。本年度はその課題解決の検証と具体化に向けての取組みを進めます。

＜子育て支援と幼児教育の充実＞

こども園・学校・家庭・地域の関係機関と連携し、地域全体で子育てを支える環境づくりに努めます。

幼児教育につぎいては、就学前の教育・保育を一体

として捉え、一貫して提供する「認定こども園」を本町における子育て支援の核施設として位置づけ「中頓別町認定こども園と中頓別町小学校との円滑な連携・接続に向けた取り組み方針」に基づき、幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向け連携・協力体制の充実に努めます。

学校・家庭・地域の連携による教育支援活動推進事業では、本年度も引き続き地域コーディネーターを配置し、地域住民などの参画による「学校支援地域本部」、「放課後子ども教室」、「家庭教育支援」の教育支援活動を支援します。

中頓別町子ども読書プラン事業では、中頓別町子ども読書推進計画を基に子どもたちを中心に町民の皆さんが自主的に読書活動を行うことができる環境整備や「中頓別町ふるさと文庫」をはじめ蔵書の充実に努め

学社融合をめざして



るとともに、図書室だよりの発行、ブックスタート事業などを推進します。

また、読み聞かせサークルなどに支援・協力をいただき、学校図書の整備や読書活動の充実を図ります。

青少年健全育成事業では、学校・地域が連携して親子、地域とのふれあいの機会を提供し、地域全体で子どもの健全育成に努めます。

〈学校教育の充実〉

子どもたちが変化の厳しい社会において必要となる「生きる力」を身につけるため、確かな学力と豊かな心・健やかな体を育む調和のとれた教育を推進していかねければなりません。

また、各学校では創意工夫と地域に根ざした教育活動やそれぞれの学校の教育目標に沿って魅力ある学校づくりに努めます。

確かな学力の向上につきましては、社会で自立して生きていくために必要な最限の学力を保障しなければなりません。学校・家庭・

地域と連携を深めながら、基礎・基本の確実な定着ある指導を着実に積み重ねることが求められています。

そのため、これまでの「全国学力・学習状況調査」の結果において明らかにになった課題解決に向け各学校で「学力向上プラン」を作成し、学習意欲を高める授業の工夫をはじめ、学習習慣・生活習慣の確立など子ども一人ひとりの学力向上に努めます。

また、指導方法工夫改善のための教職員定数加配による教職員の確保や教育支援員の配置、中頓別町教育研究会や各種教職員研修などを支援し、きめ細かな指導の充実に努めます。

豊かな心の育成については、道徳の時間を要として、教育活動全体を通して「心の教育」の推進に努めます。

また、いじめの防止に向けては、学校・家庭・関係機関との連携を密に各種の調査やアンケートなどを活用して早期発見・早期解決に努めます。

健やかな体の育成については、体育・保健授業の充

実や行事などを通しての体力の向上とともに、家庭や地域、各団体と連携を図りながら健康への意識や安全への意識の醸成など望ましい生活習慣の向上に努めます。

また、体力・運動技能・健康意識の向上を図るだけでなく、自主性や協調性・忍耐力など心身両面にわたる健康の保持増進を図る少年団活動や部活動への支援に努めます。

信頼される学校づくりの推進については、学校行事を積極的に公開したり、「学校だより」で学校教育活動の情報を提供するとともに、学校評議員の意見提言を教育実践や学校経営に活かすなど、学校、家庭、地域がともに学校運営への連携を促進し、地域に支えられ開かれた信頼される学校づくりに努めます。

また、児童・生徒の安全を確保するために、地域と支援教育については、すべての子どもに対して子どもたち一人ひとりの教育的ニーズに対応した校内体制の充実を図るとともに、関



文化財保護活用に 取り組みます

継続的、総合的に支援教育
に対する共通理解を深め組
織的な支援体制の充実が図
られるよう努めます。

教育環境の整備では、各
学校のグラウンド整備や小学
校体育館屋根改修、滑り台
の補修を行うなど児童生徒
が快適な学校生活を営める
よう適切な教育環境の整備・
充実に努めます。

〈社会教育の充実〉

町民の皆さんが生きがい
とゆとりを持って生活を送
るために学ぶ環境の整備を
進め、学んだ成果をまちづ
くりを活かすことのできる
社会を目指すために様々な
学びの要求に応じる体制整
備を図り生涯学習社会を築
いていくことが重要です。

また、学校教育と社会教
育がそれぞれの独自の教育
機能を発揮し、相互に足り
ない部分を補完する「学社
連携」から学校教育と社会
教育がそれぞれ計画段階の
最初からそれぞれの役割、
機能を生かしながら作り上
げていく「学社融合」を目
指し、学校教育と社会教育
という狭義の融合のみなら

ず、学校と地域社会という
広義の融合を目指すなど、
町民の皆さん一人ひとりの
生涯を通じた学習への支援
や個人の要望・社会の要請
との調和した学習支援に努
めます。

高齢者教育では、豊富な
人生経験や知識・技能が地
域社会で活かされ、主体的
な学習や社会活動が行える
ように、高齢者教室「寿大学」
の皆さんが健康保持と生き
がいの持てる活動を推進す
るため、サークル活動の充
実や魅力の向上に努めるな
ど、学習内容の充実やニー
ズにあった学習機会を提供
し、大学運営の活性化を図
ります。

〈社会体育の充実〉

スポーツを通じて幸福で
豊かな生活を営むことは、
全ての人々の権利であり、
町民の皆さん一人ひとりが
スポーツに対する関心を高
め、体力の向上と主体的な
健康づくりを促進するため、
体育連盟やスポーツ推進委
員をはじめ関係団体と連携
を図りながら各種スポーツ
教室や大会などの体育事業

を開催し、健康づくりの推
進に努めます。
また、地域の特性を活か
した冬季スポーツを青少年
に奨励し、多くの経験を積
める機会の提供に努めます。

〈地域文化の振興と文化財の 保護〉

地域文化の振興につきま
しては、町民の皆さん一人
ひとりが文化芸術活動に触
れる機会の提供に努めます。

文化財の保護については、
中頼別鍾乳洞をはじめとす
る町の長い歴史や風土の中
で育まれ、継承された文化
財は、町の歴史を伝える財
産として保護、伝承、活用
に努めます。

また、郷土資料館では、
今後先人が残した貴重な
文化財の収集及び保存を続
けるとともに、教育的活用
を促進するよう効果的運用
を図ります。

以上、平成25年度の教育
行政の執行に関する主要な
方針について申し上げます。

迫力ある世界にビックリ! こども館絵本パフォーマンス

絵本パフォーマンスの岸田典大さんによる絵本の読み聞かせが3月5日、こども館でおこなわれ、迫力ある音楽と絵本に魅了されていました。

この絵本パフォーマンスは、自分で作曲した曲に合わせて絵本を読むというもので、迫力ある世界に、こどもだけではなく、大人の方でも楽しめるステージとなりました。



りました。



新たな目標に向かって

中頓別小学校卒業式

中頓別小学校の卒業式が3月17日、同校体育館で行われました。

今年卒業する16名は、卒業証書を受け取ったあと、一人ひとり中学校に行ったからクラブ活動や、新たに増える教科を頑張りたいなど抱負を述べました。その後一輪の花を母親に手渡し感謝の気持ちを伝えました。

在校生からは、卒業生一人ひとりに思い出や感謝の辞が贈られ、卒業生たちは、新たな目標を胸に思い出多い学び舎から巣立っていきましました。

消防行政に貢献

住友松男さん表彰

中頓別消防団団長の住友松男さんが3月31日をもって消防団長を退職しました。

住友さんは、昭和42年に消防団員として入団し、平成17年から中頓別消防団団長として8年間在職。通算で45年7ヶ月という永きにわたり職務に全うされました。特に消防幹部の重責を豊富な見識と卓越した手腕をもって職務を遂行し消防行政の伸展に多大な貢献をされました。



お友達をいっぱいつくろう

こども館入館式

こども館の入館式が4月2日、保護者の見守る中行われました。今年入館するこどもは7名おり、緊張した様子でした。式が始まってからも、お母さんやお父さんが気になる様子で、後ろを見たりして落ち着かない様子でした。

みなさん、たくさんのお友達を作って、毎日元気よくこども館に通うことしましょう。



そうや自然学校では、笹細工の第一人者である小林勝行さん（旭川市在住）を講師に迎え、3月15日から18日までの3日間、町民センターで笹かご作成講習会を開催しました。

この講習会は、11月にネマガリダケを使ったジョンバ（除雪スコップ）づくり、2月に笹かごづくりと、今年度3回目の開催で、受講した8名は回を重ねる毎に、着実に腕をあげ、今回は立派な笹かごを作れるようになりました。

伝統継承 笹細工職人 小林勝行さん

平成25年度の中頓別町自治記念式が4月1日、役場大会議室において行われ、産業功労者として、故石井雄一氏が表彰されました。

故石井氏は、3期9年の長期に渡り、農業委員及び農業委員会会長として農業委員会の運営並びに地域農業の発展に大きく貢献されたことが受賞につながりました。

永年の功績に感謝状 自治記念式



小林さんは中頓別町出身で、旭川の会社を定年退職後、昔覚えた笹かご作りを始め、今では北海道で数少ない笹細工職人となり、実演販売や、伝統工芸の伝承に力を注いでいます。

15日の講習会終了後には、リハビリに役立ててもらいたいと、自作のかごと玉を携え、老人ホーム長寿園を表敬訪問。

顔見知りのお年寄りとの再会で昔話に花を咲かせていました。

この講習会は、5月中旬にも予定されています。



行政への苦情・要望は、行政相談委員へ

行政相談委員に太田 一穂さん委嘱される

平成25年4月1日付けで、太田 一穂さんが、引続き、総務大臣から行政相談委員に委嘱されました。

行政相談委員は役所と皆さまのパイプ役です

年金、窓口サービス、登記、道路などの役所の仕事について、お困りごとや苦情がありましたら、行政相談委員がご相談に応じています。相談は、無料・秘密厳守！お気軽に！

口頭、電話、手紙で行政相談委員にお申出ください。

電話 6-1242



いきいきふるさと推進事業 の支援内容が拡充されました！

いきいきふるさと推進事業では、中頓別町に転入してくる方に必要な情報をまとめた中頓別町生活情報誌の配付を行っているほか、子育て支援として出生祝金の交付や絵本の読み聞かせ（プレゼント）を行っています。

平成 25 年 4 月以降は、子育て支援事業の内容を拡充し、これまで交付を行っている出生祝金に加え、子ども用の紙おむつと紙おむつ用のゴミ袋を併せて交付することになりました。

対象者には、役場窓口で出生届を出された際に、ご説明させていただきますが、不明な点などありましたら、役場まちづくり推進課（電話 6-1111）までお問合せください。

区 分		対象者	内 容
転入支援事業		転入の届出をされた方	中頓別町生活情報誌
子育て支援事業	出生祝	出生届出をされた方	商品券 3 万円分
			子ども用紙おむつ (360 枚)
			紙おむつ用ゴミ袋 (6 包み)
	絵本読み聞かせ	1 歳	絵本各 2 冊
		1 歳 6 ヶ月	
		3 歳	
※絵本は健診事業に合わせて読み聞かせを行い、プレゼントします。			

今年度から補助限度額が **1,000 万円** に引き上げられました！！

地域特性や地域資源を活かした地域づくりを推進する活動に対して補助金を交付します。申請を希望される方は、次の事項を確認の上、期日までに事業実施計画書及び予算書などの必要書類を提出願います。詳しくは、まちづくり推進課までお問合せください。

■補助対象者 中頓別町内に住所を有する個人及び団体

■補助対象事業

- (1) 保健、福祉、医療に関する事業
- (2) 教育、文化、スポーツに関する事業
- (3) 農林水産業、商工業、観光の振興に関する事業
- (4) 環境保全及び創造、景観に関する事業
- (5) 移住、交流の推進に関する事業
- (6) その他、地域振興に関する事業

※ 申請しようとする事業が、町の他の補助金等の対象となる場合はそちらが優先されますのでご留意ください。

■補助対象経費 補助対象経費に要する経費のうち、人件費、食糧費、土地の取得に関する経費を除いた経費とします。

なお、国又は北海道の補助金若しくは他の事業団体から助成金等を受けている場合は、当該補助金の等の額を補助対象経費から除くこととします。

平成25年度中頓別町地域づくり活動
支援事業を募集します！

■補助金限度額等 補助金は、補助対象経費の2分の1以内とします。

補助対象事業	補助金の額		
	上限額	下限額	単位
	1,000 万円	10 万円	1 万円

■1次募集締切日 平成25年5月31日（金）まで

※上記締切日以降に申請がある場合は、その都度受け付けますので問合せ先まで相談ください。

■問合せ先 役場まちづくり推進課（電話 6-1111）

中頓別町民間賃貸住宅建設促進助成制度のお知らせ

町では、町内に民間賃貸住宅（民間アパート）を建設する方に対して、その費用の一部を助成し、良質な賃貸住宅の供給の促進と町民の定住促進を図るため「中頓別町民間賃貸住宅建設促進助成制度」を平成25年度から実施します。

助成を希望される方は、役場産業建設課建設グループまでお申し込みください。

【制度の概要】

- 1 対象となる賃貸住宅（次の要件を全て満たしている住宅）
 - ① 1棟4戸以上（プレハブを除く。）で、上下水道を完備していること。
 - ② 賃貸住宅整備基準に適合していること。
 - ・住戸の床面積が35平方メートル以上で、玄関、台所、水洗便所、収納設備、洗面設備及び浴室が設けられていること。
 - ・省エネルギー対策の基準を満たしていること。
 - ・高齢者配慮対策の基準を満たしていること。
 - ・1戸当り1台以上の駐車スペースを設けていること。
 - ③ 建築基準法その他関係法令に適合していること。
- 2 対象者（次の要件を全て満たしている方）
 - ① 賃貸住宅を新築し、その所有者となる個人又は法人
 - ② 町税その他、町に対する債務の履行を遅滞していない方
 - ③ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律に規定する暴力団員でない方
- 3 補助金の額

補助金の額は、建設工事費の1/3以内で、1戸当りの補助金の額は300万円を限度とします。
- 4 手続きの流れ

工事着手前に認定申請書の提出→認定申請の審査→認定→着手届の提出→工事着手→完了届の提出→完了検査→補助金交付申請書の提出→交付申請の審査→補助金交付決定→補助金請求書の提出→補助金の交付

■申請先及び問合せ先 役場産業建設課建設グループ（電話 6-1111）

中頓別町危険廃屋解体撤去助成制度のお知らせ

町では、町内に存する老朽化し危険な状態にある廃屋化した建築物等を解体撤去する方
 に対して、その費用の一部を助成し、町内の景観及び住環境の向上並びに町民の安心安全
 を図るため「中頓別町危険廃屋解体撤去助成制度」を平成25年度から実施します。

【制度の概要】

- 1 対象となる危険廃屋（次の要件を満たしている建築物等）
現に所有者等が使用していなく、使用することが不可能で、放置されたままになっており、周囲に危険を及ぼすおそれのある建築物等で次に該当するもの。
①住宅、その他の建築物及びサイロ
②倒壊する等によって瓦礫化し、建築物でなくなったもの
- 2 対象者（次の要件を全て満たしている方）
①危険廃屋の所有者又は所有者の相続人並びに所有者の同意を受けた占有者
②町税その他、町に対する債務の履行を遅滞していない方
③暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律に規定する暴力団員でない方
- 3 補助の対象としない場合
①町の補助金及び融資を受けて建て替えを行う場合
②補助対象経費が10万円未満の場合
③公共事業による移転補償の対象となった場合
④地方税法第348条の規定により固定資産税が非課税である場合
- 4 補助金の額
補助金の額は、解体撤去並びに廃棄物処理に要した費用（2以上の危険廃屋を解体撤去する場合は合算した費用）と町が定める限度額のいずれか低い額の1／2以内で、50万円を限度とします。
補助金の交付は、申請者1回限りとします。
- 5 手続きの流れ
工事着手前に工事計画書の提出→工事計画書の審査→承認→工事着手→完了届の提出→完了検査→補助金交付申請書の提出→交付申請の審査→補助金交付決定→補助金請求書の提出→補助金の交付

■申請先及び問合せ先 役場産業建設課建設グループ（電話6－1111）

丸山博光（南宗谷消防組合中
頓別支署長）

3月31日付け人事異動（退職）

保健康福社課支援保健福祉グループ
兼地域包括支援センター
員本院橋本大輔、国民健康保険
病派遣齋藤翔太、南宗谷消防
組合派藤佐藤、斗（写真）

新規採用

保健福祉課長 吉田智一（保健福祉課長）
建設課長 兼建設課長 兼建設課長 兼建設課長
長 山内功（産業建設課長）
育グルー プ主査 教育委員 会教
進グルー プ主査、産業建設課
産業グルー プ主査、千葉靖宏
（まちづくり推進課まちづくり
推進グルー プ主査、まちづく
リ推進課まちづくり推進課
後期高齢者医療広域連合派遣
遣、まちづくり推進課まちづく
くり推進グルー プ主査 永田
剛（教育委員会教育グルー プ
主査）、教育委員会教育グルー
プ主査 野田繁実（まちづく
リ推進課まちづくり推進課
課まちづくり推進グルー プ主
事 石川拓哉（保健福祉課保
健福祉グルー プ主事）
住民グルー プ主任 小林美幸
（国民健康保険病院総務係主

4月1日付け人事異動

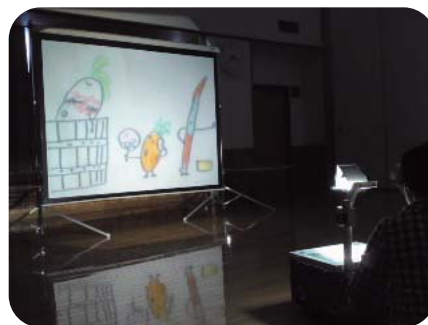
読み聞かせボランティアサークル

「このゆびと〜まれ♪」 の活動



こども園にて、読み聞かせを行いました。
みんな喜んで、話を聞いていました。

3月6日



図書室だより

注目の新着本

今月の新着図書

(3月29日現在)

一般向け図書

『桜ほうさら』 宮部みゆき
『冬芽の人』 大沢 在昌
『出雲と大和』 村井 康彦
『奥の奥の森の奥に、いる。』 山田 悠介
『輝天炎上』 海堂 尊
『北への逃亡者』 西村京太郎
『夢を売る男』 百田 尚樹
『ローカル線で行こう!』 真保 裕一
『農家が教える品種選び読本』 農文協 編
『キャパの十字架』 沢木耕太郎
『自律神経を整える。ストレスに勝つ!』 小林 弘幸

児童向け図書

『おうさまのひっこし』 牡丹 靖佳
『ランドセルのはるやすみ』 村上しいこ
『落語絵本みようがやど』 川端 誠
『うどんのうーやん』 岡田よしとか
『だって春だもん』 小寺 卓矢
『あたたかい木』 小寺 卓矢
『災害救助犬レイラ』 井上こみち
『物語の迷路』 香川元太郎
『くふうの図鑑』 鎌田 和宏
『探検!発見!ミクロのふしぎ』 近藤 俊三
『七夜物語』 川上 弘美

※ その他、多数の新着図書が入りました。
どうぞ、ご来室下さい。

(一般書)『おどろきの中国』 講談社 著: 橋爪大三郎、大澤真幸、宮台真司



中国はそもそも「国家」なのか? 2000年以上前に統一できたのはなぜか? 毛沢東の権力とはいかなるものだったか? 冷戦が終わっても共産党支配が崩れなかった理由とは? 中国は21世紀の覇権国になるのか? 真に中国を理解するための必読書。

(児童書)『いきのびる魔法 - いじめられてる君へ-』 小学館 著: 西原理恵子



どんな紛争地でも年間3万人も死んでいません。そんな多くの人が自殺する国は日本だけです。この国は形を変えた戦場なんです! 「朝日新聞」掲載の「いじめられてる君へ」を絵本化。

It is good that we have lived in Nakatombetsu
and we would like to live there for long.

ー住んでいてよかった これからも住んでいたいー

雪焼の顔ひよいと下げ旗を振る 武田 雄峰	雪焼の肌さわだたせ白手拭 東海林 海峯	目の前にヌツと雪焼面の孫 菅原 貞子	ノーマイク雪焼だけが肌隠し 高橋 妙子	店に来る雪焼の顔子等二人 平田 栄珠	雪焼の相槌を打つ夫が居て 山崎 静女	雪焼の声のか細き女子学生 高橋 恵翠
-------------------------	------------------------	-----------------------	------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

よろしくお願ひします！ 新規採用職員の紹介



佐藤 柊斗さん (18) 旭川市出身
南宗谷消防組合派遣



橋本 大輔さん (23) 旭川市出身
保健福祉課保健福祉グループ



齋藤 翔太さん (22) 稚内市出身
国民健康保険病院総務係

国民年金保険料の口座振替・前納制度のご案内

国民年金加入者の皆様に、口座振替により保険料を納めていただいた場合の「便利」で「お得」な情報をお知らせします。

便利 口座振替により保険料を納めていただくと

- 自動引き落としで納め忘れの心配がありません。
- 金融機関等へ行く手間と時間が省けます。

さらに！！

お得 前納制度をご利用いただくと

- 現金で月々保険料を納付した場合に比べ、割引きになり大変お得です。

お申込み方法

- 口座振替申出書に必要な事項を記入・押印（金融機関の届出印）し、お近くに年金事務所の窓口にお申込みされるか、ご郵送ください。また、金融機関窓口にご提出いただいても結構です。
- 前納のお申し込みは
 - ①1年度分及び上期6ヶ月分（4月分～9月分）は2月末
 - ②下期6ヶ月分（10月分～翌年3月分）は8月末までに、お近くの年金事務所にお申込みください。

編集後記

春になり風が強く、黄砂が飛んでくる時期になりました。今年はニュースや新聞で騒がれているPM2.5という物質が大気を汚染し、健康にも良くないといわれ心配です。PM2.5は花粉より小さい微粒子で吸い込みやすく特に気管の弱い方は要注意です。そのため、マスクの着用が有効的と聞きます。風の強い日は注意が必要ですね。(tady)

戸籍だより

3月1日～3月31日受付分
(公開にご了承いただいた方のみ掲載しています。)

おくやみ

字中頓別 栗原 春治さん
(97歳 3月14日)

字中頓別 柴田 ハツエさん
(98歳 3月24日)

人のうごき

(平成25年3月31日現在)
世帯 941(2)
人口 1,927(-8)
男 954(-3)
女 973(-5)
()内は前月対比

※世帯数・人口・男・女には、外国人も含まれます。

広報誌なかとんべつ 4月号 Vol.641

【発行】 2013年4月10日

【編集】 中頓別町総務課住民グループ 〒098-5595 北海道枝幸郡中頓別町字中頓別172-6 TEL 01634-6-1111 FAX 01634-6-1155
HP <http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp> e-mail: info@town.nakatombetsu.lg.jp

【印刷】 有限会社 天北印刷工業

この広報誌は再生紙を使用しています。